

サン&ハート♥雇用支援センターだより



interview

就労定着支援を受けて、頑張っています!!

なごやかハウス三条 浅野 由季奈さん

名古屋市南区にある介護サービス事業所なごやかハウス三条で清掃や洗濯業務等で活躍している浅野さん。雇用支援センターの就労移行支援に通って様々なプログラムにチャレンジし、支援員とも相談しながら、自分にできる仕事を探してきました。入社して約2年半経ちますが、雇用支援センターでの就労移行支援の訓練のこと、現在のお仕事について、浅野さんや浅野さんのご家族様、担当した支援員にお話を伺いました。



NAGOYA_KOYOSHIEIN



#名古屋市障害者雇用支援センター
Instagram始めました☆

フォロワー大募集!

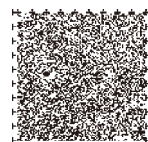
二次コードから
見られます!

2023年1月31日、名古屋市障害者雇用支援センターのInstagramを開設いたしました!当センターでの取り組みなどを定期的に掲載しています。よろしければフォローをお願いいたします。



マスコットキャラクター
「な～や」

- 就労定着支援を受けて、頑張っています! 1~4
- 雇用支援センターの就労移行プログラム紹介 5
- 企業担当者様へインタビュー 6~8
- ミニ見学会を開催 8



就労移行支援を利用しようと思ったきっかけ

浅野さんは前職を辞めて、ご家族と一緒に雇用支援センターのミニ見学会に参加されました。浅野さんが学生時代にご家族様が当センターの見学にお越しになったことがあり、何かあったら雇用支援センターに相談しようというお考えでした。

以前はパン工場で働いていましたが退職し、その後も転職活動をして違う職場で働いたものの、浅野さんにとっては、居場所がなく孤立感を感じ、日増しに辛さが強まっていきました。結果として退職となったため、これからのことを考えていた時に、以前雇用支援センターを見学したことをご家族様が思い出し、雇用支援センターで開催されているミニ見学会でお話を聞いてみようと思われたのが、雇用支援センター利用の第一歩でした。ご家族様は娘のことを考えると、就労継続A型やB型しか行けないかなと思っていたが、就労移行にチャレンジさせて、娘の可能性を見つけていきたいということで、就労移行支援事業を利用することとなりました。



就労移行支援の思い出・頑張ったこと

浅野さんに就労移行の思い出や頑張ったことについてお聞きしました。

Q 訓練の作業で難しかったことは何ですか？

A 最初は全部難しかったけど、慣れたらできるようになった。スピードも速くできるように頑張った。

Q センターで楽しかったことは何ですか？

A ウォーキング、ストレッチ、ダンス。ウォーキングで行ったところに、休日お母さんを連れて行ってあげた。

Q 訓練と仕事で似ていること・役に立っていることは何ですか？

A ◎トイレ掃除はセンターとやり方が同じ。毎日トイレ掃除は4か所やっている。

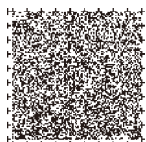
◎職員さんからテーブル拭きをお願いされたことがあったが、センターでの経験があったからすぐに対応できた。

◎時間があるときは自分で汚れているところを探して、掃除、消毒をしている。センターにいるときにいろんな場所の消毒をやっていたので、その経験がいきている。

◎電話のかけ方もセンターで練習してできるようになった。今まで誰にもかけたことなかった。

ご家族から見る浅野さん

ご家族様にも就労移行支援の時についてお話しいただきました。最初は本人にはできないかなということもセンターのルールとして職員からお願いされました。例えば、休むときや通勤時に緊急のことがあったら、自分から電話をしてきて欲しいと言われましたが、娘にはできるのかなと正直思っていました。娘は自分からコミュニケーションを取ることが苦手です。でも、センターに通って練習して、娘にこのような能力があったのかと気づかせていただくことができました。



また、木曜日に行っているウォーキングがとても楽しくて、ウォーキングの日は自宅に帰ってくると、どこに行ったのか報告してくれました。週末に家族でも出掛けようということで、娘が自ら行きたいところを家族に相談し、予定を立てて出掛けていました。

そして、居場所ができたことがとても大きかったと思っています。就職を目指して訓練を行うセンターですが、娘にとってセンターに行くことが楽しみになっていました。今までの仕事では孤立していることが多く、自宅から送り出す姿を見て、親として辛かったことがありました。でも、センターに通い始めた当初は緊張していましたが、徐々にセンターに行くことが楽しくなったようで、顔つきも変わってきました。一般就労は親として正直なところ難しいかなと思っていましたが、センターに通ってなごやかハウス三条に就職できて、今も楽しく仕事ができているので、本当に良いところに就職できたと思っていますとお話してくださいました。



お休みの日の過ごし方

現在は週5日働かれる浅野さん。社会人として仕事とプライベートの両立は大切なことですが、お休みの日はとても充実した生活を過ごしています。訓練を利用する前から水泳に取り組みされていました。現在も週4日、自宅近くのプールや名東区にある障害者スポーツセンターのプールに出掛けて泳いでいます。大会にもエントリーをされていて、夏に開催の大会に向けて練習に励んでいます。大会は地方でも開催されることもあり、大会に出場するだけでなく、開催地で観光することも楽しみの一つになっています。

プールに行かない日はジグソーパズルをしています。コロナでプールに行けなかった時は、自宅でパズルをやって過ごしていました。1,000ピースのパズルを熱心に組立て、部屋に飾れないくらい多くのパズルがあるようです。このような形で、仕事だけでなく、お休みの日も浅野さんは充実した日々を過ごされています。

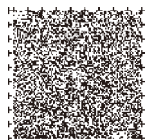


担当支援員や職場担当者から見る浅野さん



就労移行支援事業、就労定着支援事業で浅野さんの担当である小亦支援員に聞きました。

就労移行を利用させていただいているとき、浅野さんは努力家で、ひたむきな姿勢がとても印象的でした。初めてのことで“まずはやってみよう”という気持ちが伝わってきました。なごやかハウス三条に就職して2年半経過します。初めの頃は戸惑いや不安が大きかったと思います。仕事をする上で、浅野さんに負担の無いよう、例えば掃除用具や、パックカット用にハサミの購入等の配慮をしていただきました。



慣れない人や環境の中で上司やパートさんに優しく声をかけていただき、今日まで続けてくることができました。

今では入居者様に顔と名前を覚えていただき、『浅野さんありがとね』と声をかけてくださるようで、本人もそれが嬉しいようです。また、職場の様子がいつもと違うな、と気付けるようになり報告もできます。最近では自信に満ちた表情で「今日も忙しいよ!」と教えてくれます。

また、浅野さんが勤務しているなごやかハウス三条施設長にも仕事ぶりについてお話を伺いました。

浅野さんは洗濯パートとして採用しました。他のパート職員と一緒に衣類の洗濯や畳む仕事をしています。他にも建物内の清掃業務、消毒業務、利用者様のシーツ交換等をやっています。入社して2年半が経ち、仕事にも慣れてこれ、今では自分の仕事だけでなく、周りに目が行き届くようになりました。何かあれば職員に報告があり、利用者様の事故防止にも貢献していただいています。浅野さんが入社されるまでは、同じ洗濯パート職員に残業がみられましたが、浅野さんに仕事をお任せすることができ、他のパート職員も定時での勤務にもつながりました。

そして、浅野さんと一緒に働くパートさんからは、「浅野さんは若くて、元気があり、いつも明るい存在です。浅野さんがいないと困ります」というお話もありました。浅野さんは入社して2年半ですが、既になごやかハウス三条の戦力として期待されている存在になりました。



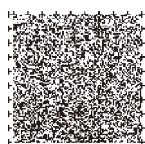
しごとのないよう	
10:00~10:20	シーツこうかん ● せんめんだい ● せんめんだい ● せんめんだい
	1かい せんめんだいシンク 1かい かいごトイレ いむしつトイレ
10:20~11:20	2かい トイレ (てぶくろこうかん) 2かい せんめんだいきつ シンク
11:20~11:40	ぎゆうにゆうバック
11:40~12:00	タオルたたみ
12:00~13:00	きゆうけい
13:00~13:30	くしのそうじ
13:30~14:40	タオルたたみ
14:40~15:00	ですりしょうどく

今後の目標・夢について

最後にこれからの目標について聞いてみました。

仕事では、「①気づいたことがあれば、上司に報告する」、「②他の方が気づきにくい、細かい部分の汚れに気づいて掃除していきたい」の2つの目標をあげていました。また、プライベートでは「①水泳の大会に行きたい」、「②行けたらディズニーにも行きたい。その時はお母さんと自分の分の新幹線代を出したいと思っている」と語っていただきました。

そして、ご家族や施設長にもこれからのことについてお聞きしました。ご家族としては、なごやかハウス三条が娘にとって居場所になっていて、安心して働ける職場を見つけていただいたので、引き続きなごやかハウス三条で頑張ってもらいたいと希望されていました。職場の施設長からも、体調管理に気をつけて無理せず長く働いてほしいと期待されていました。

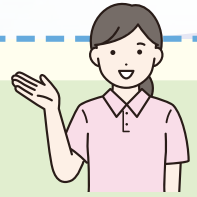


このようにみなさんから期待されている浅野さんをこれからも、雇用支援センターでは、身近で親しみやすい支援機関として、定期的な職場訪問や面談を通じ、今後もなごやかハウス三条で活躍できるよう支援していきたいと考えております。

雇用支援センターの就労移行支援プログラム紹介

テーマ

職場で働ける体力づくり



一般企業に就職して、安定して働くためには、体力をしっかりつけておくことが大切です。当センターの就労移行支援事業では、一般企業で働くために必要な社会的マナーや障がい特性の把握、ご本人の強み・弱みの発見を行うとともに、運動のプログラムを取り入れています。

今回は、そんな運動に関するプログラムについてご紹介いたします。

●朝礼・昼休憩後のラジオ体操

毎朝、朝礼が終わった後に、みなさんとラジオ体操第1を行います。体操をして体をほぐしてから、今日のプログラムが始まります。昼休憩後にはラジオ体操第2も行います。ラジオ体操を行い、リズムに合わせたストレッチも行ったうえで、みなさんプログラム前にしっかり体を動かしています。



●体操教室

体操関連の動画を見ながら体操をしています。椅子に座った簡単な運動から、音楽を聴きながらダンスを踊ることもあります。頑張りすぎて、翌日筋肉痛になってしまう利用者の方もいますし、最初から飛ばしてしまい、最後の方には息切れしてしまう方もいます。運動からペース配分を学ぶ利用者の方もいます。

また、体力作りだけでなく、障がい者スポーツに興味を持っていただこうと思い、みなさんとボッチャ大会を行って楽しむこともあります。



●リラクゼーション

ヨガマットを敷いて、ヨガや呼吸法、ストレッチ等を行っています。自宅でもできるものをセンターで行い、気持ちよく体を動かしています。

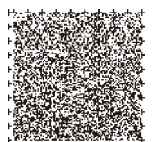


●ウォーキング・スポーツセンターの利用

月1回、ウォーキングを行っています。例えば、熱田神宮や東別院など、センター近くのスポットまで健康のためだけでなく、楽しみも兼ねて、利用者者と職員でウォーキングに出掛けています。また、ウォーキングのスポットとして、スポーツセンターに出掛けることもあります。センターの近くにある露橋スポーツセンターまでウォーキングして、スポーツセンター到着後は、1時間程度マシン等を使って運動をしています。



このように、センターでは健康管理のための運動に関する様々なプログラムを行っています。働くためには、しっかりと体力をつける必要があります。センターでは、今後も就職に向けたプログラムの1つとして、体力づくりに関することを、利用者の方の希望も聞きながら、実施していきたいと思っています。



株式会社AOKI



株式会社AOKI
障がい者雇用担当部長 木村 正明 様

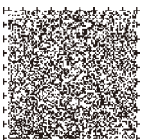
会社概要

1958年、「ビジネスマンが日替わりでスーツを着られる世の中にしたい」という想いを原点に私たちAOKIグループは誕生しました。以来、お客様のニーズにお応えし社会貢献することを念頭に「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」という3つの経営理念を掲げ、企業活動を推進しております。

障がい者雇用においても、現在3か所のサテライトオフィスにて64人のメンバーが従事し、店舗にて発生する業務をオフィスにて請け負っています。そしてメンバー一人ひとりが生き生きと輝いて働ける職場環境を作り上げるために①一人ひとりの特性に合わせた業務を任せる②一人ひとりの役割を明確にする③目標に向かってチームで取り組む、という3つの活動方針を通じてメンバーの「やりがい」や「達成感」、そして社会貢献につながればと思っています。

Q 障がい者雇用をしようとしたきっかけ(理由)は?

A 今から10年前の2013年、弊社の障がい者雇用率は0.85%であり、当時の法定雇用率であった1.8%には程遠い状態でした。その解決手段として、大型店舗にて障がい者雇用ができないかと考えていましたが、現実には店舗で任せられる業務はごく限られたことしかありませんでした。発想を変えて、店舗の作業を店舗の障がい者が行うのではなく、作業を一か所に集約して複数人の障がい者が業務を担うというサテライトオフィスを設立することになりました。また会社としてもサポートしやすく、障がい者にとっても働きやすく、また作業の効率も上がると考え、神奈川県、愛知県、埼玉県と順にサテライトオフィスを増やしていきました。このような経緯により現在(2023年6月)では雇用率は2.82%となっています。



Q 障がい者雇用してよかったことは?

A サテライトオフィスを立ち上げることで法定雇用率の達成につながり、納付金の納付から雇用調整金の受給に転じ、企業責任を遂行する仕組みを構築することが出来ました。

しかし何よりもよかったのは障がい者雇用の必要性や社会的意義を会社としてより理解を深めることにつながったことです。また店舗の作業を担うことでお店の方からも感謝されるようになったことは嬉しい限りです。



Q 障がい者雇用について大変なところは?

A メンバーの皆さんは一人ひとりの障がい特性が異なるだけでなく、仕事に取り組む姿勢や考え方など性格や人間性も異なります。健常者の職場ではほとんど考えなくてもよかったこと、例えば「どうすればうまく伝わるのだろう」「どこまで理解してくれたのだろう」等、もう一步深くまで考えたコミュニケーションが必要になります。また適性に合った仕事を任せるだけでなく、楽しい環境づくりもモチベーションアップにつながるため、メンバー全員が参加できる企画、みんなで盛り上げるイベントを定期的には開催するようにしています。



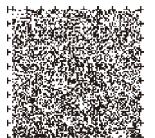
Q 障がい者の皆さんの働きぶりは?

A オフィス全体の運営ができるリーダーが日々の実務をコントロールしています。そして業務ごとにメンバー数人でチームを編成し、その責任者を障がい者雇用メンバーの中からチーフとして選任しております。日々の目標達成に向け、業務ごとにリーダーからチーフへ、そしてメンバーへと指示が出されます。そして月間の目標を達成したとき、また特に頑張って成果につなげたチームやメンバーを表彰し、モチベーションアップにもつなげています。



Q これからの障がい者の皆さんへ期待することは?

A メンバーの皆さんが新しい業務にチャレンジすることを期待しています。出来ることをひとつでも増やしていくことで一人ひとりがレベルアップし、自信と成長につながればと思っています。その過程で役割分担を理解し、チームで協力し合うことで良い人間関係と仲間意識を学び、ひいては一人ひとりの社会的自立につながればと願っています。



Q 支援機関と関わることでのメリットは?

A 定期的に職場に訪問して頂き、メンバーの話を聞いていただいております。そんな中、会社の支援者だけでは把握しきれないことや、メンバーの繊細な感情や気持ちを聞き出していただき、情報を共有し、メンバーの相談や悩みの解決に助かっております。またメンバーの皆さんも支援機関の方と会うのを楽しみにしており、長く就労して頂くうえで大変心強く感じております。



Q 障がい者雇用について会社としての目標は?

A サテライトオフィスを設立して以来、安定した障がい者雇用につながっています。また店舗の作業を担うことで店舗の皆さんから感謝の言葉もいただけるようになりました。今後も現行業務の安定稼働を実施していくことに加え、新たな取り組み・業務の開拓を検討していきたいと考えております。それにより、メンバー一人ひとりの仕事に対する前向きな気持ちと自信につなげ、社会的自立の一助となれば幸いです。



ミニ見学会を開催!

ご本人・ご家族向けに、就労支援機関を知っていただく会を開催しています。

令和6年開催日時(時間は全て10:30~11:30)

ご都合が合わない方も、随時対応をさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

内 容

- ▶ 就労支援機関とは?(ナカポツって?/就労移行支援って?)
- ▶ センター見学 (職業リハビリテーションとは?)

場 所 名古屋市障害者雇用支援センター

申込み方法

開催日の3日前までに電話またはFAXでお申し込みください。
(お名前と人数、連絡先をお伝えください)

電話 : 052-678-3333 FAX : 052-683-5250

令和6年

1月10日(水)・24日(水)
2月7日(水)・28日(水)
3月13日(水)・27日(水)
4月10日(水)・24日(水)
5月18日(水)・22日(水)
6月12日(水)・26日(水)
7月10日(水)・24日(水)
8月7日(水)・28日(水)
9月11日(水)・25日(水)
10月9日(水)・23日(水)
11月13日(水)・27日(水)
12月11日(水)・25日(水)

編集・発行

名古屋市障害者雇用支援センター

〒456-0073 名古屋市熱田区千代田町20番26号

● 地下鉄名城線「日比野」駅3番出口から徒歩10分

● 市バス「野立小学校(サンハート前)」下車徒歩1分

TEL 052-678-3333 FAX 052-683-5250

<http://www.nagoya-koyosien.jp>

E-mail: koyoshien@nagoya-shakyo.or.jp

